

# C/guard シーガード 太陽光設置金具施工の注意点

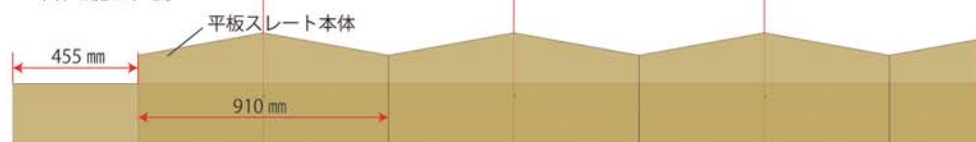
## 平板スレートの施工手順①～③

太陽光発電システムの設置時にシーガードがすでに施工されている際にその下の平板スレートの位置を正確に把握する方法は以下の通りです。

### ①スターターを施工



### ②スターターのジョイントから455 mmずらして本体を施工する。



### ③次の段の本体を下段から455 mmずらして施工していきます。



### ④シーガード本体のジョイントは各段の平板スレートの本体のジョイントから455 mm離して施工します。



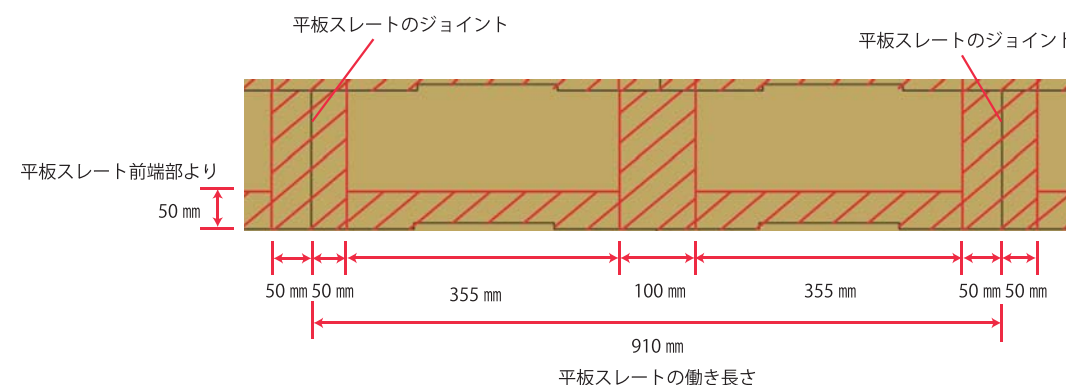
スターターのジョイント部は必ず平板スレートの偶数段のジョイント部になります。

\*ちなみに奇数段はスターターのジョイントの両側 455 mmの位置にあります。

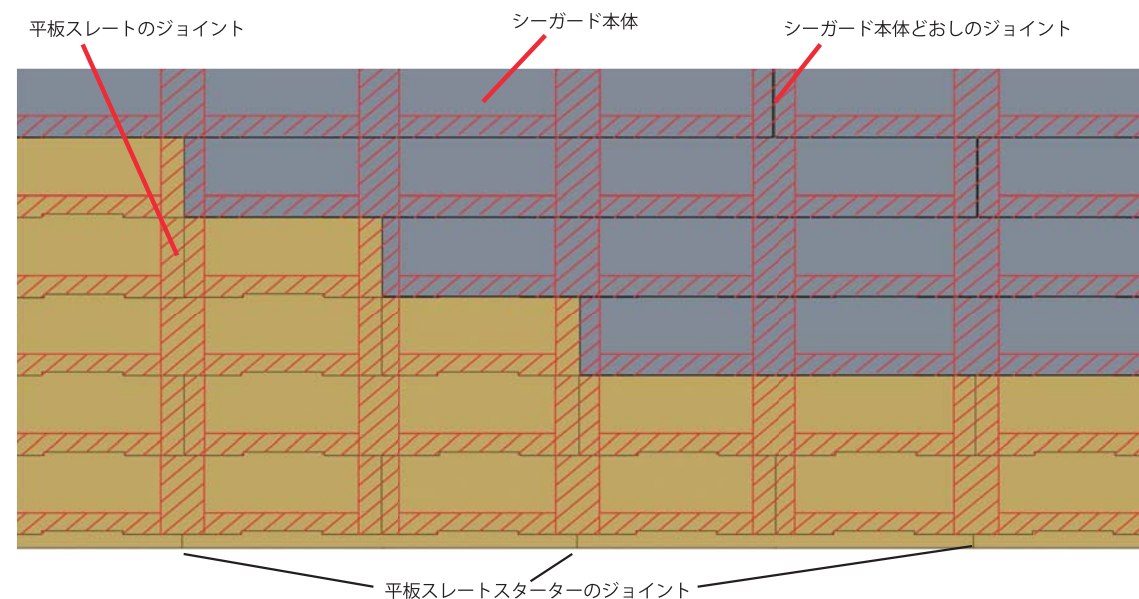
\*シーガードの横のジョイント部とスターターのジョイントの位置関係が正しいか確認して、平板スレートの位置を把握してください。



平板スレートに太陽光モジュールの架台設置金具を設置する際に以下の設置禁止範囲があります。(赤斜線部)



平板スレートの上にかぶせるシーガード本体との位置関係は下図の通りとなりますので、既存平板スレートの設置範囲を守って金具を設置するようにしてください。



太陽光モジュールの架台設置金具を設置する際にあける下穴は下記要領で開けてください。

シーガード本体にドリルの刃をあてて、軽く押しつけながら2～3回ドライバーのトリガーを2から3秒くらいずつ引いて回まわしていき、平板スレート本体を貫通した間隔がわかりましたら、それ以上開けないようにしてください。  
\*力任せに回さないこと

平板スレート本体にドリルの刃があたりましたらドライバーのトリガーを2から3秒くらいずつ引いて回まわしていき、平板スレート本体を貫通した間隔がわかりましたら、それ以上開けないようにしてください。  
\*力任せに回さないこと

ドリルの下穴は屋根下地合板に開けなようにしてください。金具設置時のビスの保持力が低下します。

